

# 再評価結果（平成17年度 事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：鈴木 克宗

事業名	地域高規格道路「倉敷福山道路」 一般国道2号福山道路	事業区分	一般国道	事業主体	中国地方整備局
起終点	自：広島県福山市瀬戸町長和 至：広島県福山市赤坂町	延長	3.3km		
事業概要	倉敷福山道路は岡山県倉敷市と広島県福山市の連携強化・時間短縮に資する延長約5.5kmの道路である。福山道路は地域高規格道路「倉敷福山道路」の一部を構成する道路で、総延長16.5kmの道路のうち、福山市瀬戸町長和から赤坂町の約3.3kmについて整備中である。				
H13年度事業化	H12年度都市計画決定	用地	未着手	工事	未着手
全体事業費	約360億円	事業進捗率	2%	供用済延長	-km
計画交通量	29,100~31,100台/日				
費用対効果分析結果	B/C： (事業全体) 1.8 (残事業) 1.9	総費用：(残事業)/(事業全体) 254/263億円 事業費：239/248億円 維持管理費：15/15億円	総便益：(残事業)/(事業全体) 474/474億円 走行時間短縮便益：404/404億円 走行費用減少便益：46/46億円 交通事故減少便益：24/24億円	基準年： 平成17年	
感度分析の結果	残事業について、感度分析を実施 交通量変動：B/C=2.1(交通量+10%) B/C=1.7(交通量-10%) 事業費変動：B/C=1.7(事業費+10%) B/C=2.1(事業費-10%)				
事業の効果等	円滑なモビリティの確保・・・福山市瀬戸町周辺地域の交通渋滞緩和 地球環境の保全・・・福山市瀬戸町周辺地域のCO2排出量が削減 生活環境の改善・保全・・・福山市瀬戸町周辺地域のNO2・SPM排出量が削減 他 9項目				
関係する地方公共団体等の意見	福山道路は福山市をはじめ、5市からなる山陽道建設促進期成同盟会により早期整備要望を受けている。				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	経済活動の進展を背景に、東西方向を連絡する一般国道2号の交通量が増大し、福山市中心部では慢性的な交通混雑が発生している。				
事業の進捗状況、残事業の内容等	用地調査は地頭分一番組地区及び山北地区を除き、平成17年度中に完了する見込みである。				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	福山市瀬戸町山北地区では、一部住民・市民団体から事業凍結の意見が出され、測量等現地調査に着手できない状態であったが、平成16年8月から10月にかけて、現地調査に対する住民への意向確認を行ったところ、多数の住民から現地調査への了解が得られたと判断できたため、平成16年12月より測量等を実施している。また、用地協議の整った地区もあることから、平成18年度より用地買収に着手する予定である。今後は関係機関と連携し、平成20年代の暫定供用を目指すこととしている。				
施設の構造や工法の変更等	建設副産物の発生抑制や再生資源利用等により、今後ともコスト縮減に努めることとしている。				
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。				
事業概要図					

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

